

言語情報活用システムプロジェクト

プロジェクトの目標

言語を主とした知識獲得、情報検索、質問応答、翻訳（支援）などの機能を持つ総合的な技術情報活用システムの開発

プロジェクトの活動方針

- ・特定分野に言語処理技術及び言語資源を集中的に投下することにより、利用者満足度が飛躍的に高い精度を実現するプロトタイプ構築を目指す。
- ・NICTがもつ中国、タイなどのアジア圏研究ネットワークを十分活用する。
- ・蓄積した言語資源の社会移転を推進する。

課題一覧

- ・文書読解支援インタフェースの構築
- ・英文読解に関する研究
- ・大規模非定型文書からの情報抽出の研究
- ・翻訳支援環境の研究

言語情報活用システムプロジェクト

平成16年度活動状況

体制

プロジェクトリーダー： 井佐原均 (NICT)

メンバー：富士通, シャープ, TIS, リコー, 日本原子力研究所, 沖電気, NICT

活動状況 (主なトピックス)

- ・ NICT研究員と, オープンラボに常駐している他機関からのプロジェクトメンバーで定期的にディスカッションを行っている。(TIS, シャープ, 沖電気, 富士通)
- ・ 学会発表

色彩の心理的效果を利用したOn-Line Document Interfaceの有効性評価 (TIS, NICT)

サポートベクターマシンを用いた対訳表現の機械翻訳辞書登録適切性の自動判定

読解過程検定ツールを用いた読解支援システム評価 (シャープ, NICT)





情報獲得支援のための専門用語アノテーション (沖電気, NICT)

以上、3月の言語処理学会年次大会にて。

この他にも研究会、国際会議等で発表。

言語情報活用システムプロジェクト

平成17年度の研究計画

課題名	H17年度
文書読解支援インタフェースの構築	 プロトタイプ開発
英文読解に関する研究	 支援手法の検討
大規模非定型文書からの情報抽出の研究	 実システムへの実装
翻訳支援環境の研究	 基盤技術の開発